

# JASMA 会報

2015年1月発行（季刊）一般社団法人日本縫製機械工業会

## CONTENTS

新年ご挨拶	1
年頭所感	2
新年賀詞交歓会開催される	3
第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定	3
国際アパレル機器&繊維産業見本市(JIAM 2016 OSAKA)出展申込募集中	4

## 新年ご挨拶

一般社団法人日本縫製機械工業会

会長 中村 和之



年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の我が国経済は、消費税率8%への引き上げ、急激な円安の展開などにより年度後半にいたり、成長率がマイナスに転ずるなど年初の勢いが減じられたとはいえ、全体として

は大手企業を中心とする収益の改善、設備投資の増加などを柱に緩やかな回復を続けてきたといえそうです。本年度はどうか大変気になるところですが、先の選挙を受けてスタートした新しい内閣には、中小企業や地域経済対策などにも意を用いつつ、回復に向けて着実に成果を挙げてほしいと願うものであります。

本年は「未（ひつじ）年」です。「ひつじ」の字の意味は、「味（み）」、「あじ」であり、それは「草木の果実がいよいよ熟し、丁度滋養溢れた状態になること。」を指していると言われます。今年一年、日本経済が成熟度を高めつつ、持続的に発展する年になることを期待したいと思います。

世界経済については、シリア・イラク地域情勢やウクライナ情勢などの地政学的なリスク、中国経済の成長率の低下、さらにはマイナス成長が懸念される欧州経済、原油価格下落の影響など不安は残るものの、米国経済やアセアン主要5か国などについては、引き続き回復が期待できそうです。

またアパレル産業につきましては、中国市場のウエイトは縮小しているものの、ベトナム、カンボジア、ミャンマー等を中心とする東南アジア、南アジア市場は拡大を続けてい

ます。私どもとしては、このような中で成長発展の機会を失うことがないように、あらゆる努力を払うとともに、日本を含めたアジア地域の繊維・アパレル産業全体の発展に寄与してまいりたいと思います。

このような基本認識の下、当工業会としては本年も、国内関係業界はもとより、中国、ドイツ、アメリカ等の海外関係業界団体との連携、協調を図りながら、特に次の2つの事業を中心に進めていく所存です。

一つ目はJIAM展です。11回目となるJIAM 2016 OSAKAは、平成28年4月6日～9日にインテックス大阪で、「国際アパレル機器&繊維産業見本市」と名称変更して、繊維加工全般の多岐に亘る広範な展示と情報交換の場として開催いたします。「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマに情報技術と革新技術を駆使した新製品や最新技術を世界に向けて情報発信する場となります。会員企業を初めとして日本企業のモノづくりの考え方や最新技術の展示も予定しております。また、JIAM展開催期間中、副資材関係など繊維産業関係見本市を同時に併催しておりますので、相乗効果も期待されます。さらに、JIAM展には、縫製製品生産拠点であるアジア新興国から多数の方々の来場も期待できますので、ビジネスチャンスの拡大につながる場となることと思います。

昨年8月東京、10月大阪にてJIAM展についてそれぞれ記者発表を行い、既に出展勧誘と来場誘致を開始していますが、JIAM展にとって本年はまさに正念場の年になります。

皆様からのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

二つ目は、家庭用ミシンを使ったモノづくりの普及促進

に関することです。この活動の中心となる本年の「ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」には、例年より作品の募集を繰り上げて実施したうえ、第35回ということで新しく「特別賞」を設けましたが、本年も526の学校から、素晴らしい出来栄の力作やアイデア溢れる個性的な作品4,233点が寄せられました。

表彰式は、来る3月7日(土)に開催します。また同日、入選作品の発表も実施します。私どもとしては、今後も本コンクールをベースに、個性豊かな作品の創造とミシンソーイングにより、我が国の「モノづくり」文化のすそ野が着実に拡大することを期待しております。

また、課題となっていた当工業会の収支バランスの回復につきましても、皆様のご理解のもと取り組んだ結果、必要な経費をしっかりと確保した上で、好ましい状況が生まれつつあります。会員各社のご理解とご協力のたまものであり感謝に耐えません。改めて御礼申し上げます。

最後になりますが、私どもとしては、本年も、会員企業間のコミュニケーションの一段の充実を図りつつ、経済産業省のご指導のもと、関係諸団体とも連携を密にし、当工業会の着実な運営と発展に向けて努力してまいり所存です。

最後に、本年の皆様の一層のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭所感



平成27年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

安倍政権が発足してから2年が経過し、アベノミクスの「三本の矢」により経済の好循環が生まれ始めております。こうした動きを一過性のものに終わらせず、持続的

な成長軌道につなげていくために、引き続き、成長戦略を推し進め、製造業から日本経済の再生を成し遂げたいと思います。

我が国は世界に先駆けて少子高齢化が進展し生産年齢人口が減少するなど、まさに課題先進国であり、世界中の国々から日本が如何に対処するのか注目を集めています。実際に、ものづくり現場においても人手不足の顕在化や生産現場の作業負荷などの課題に対して有効な手段を講じていくことが急務となっております。こうした課題解決の切り札として、ロボットが注目されています。人手不足やサービス部門の生産性向上を図るためにロボットを活用するとともに、これを梃子に裾野の広い機械産業の更なる成長へとつなげていきたいと考えています。現在、安倍総理の下に、有識者からなる「ロボット革命実現会議」を設置し、日本をロボットが牽引するイノベーションの拠点とするための戦略づくりを進めています。ロボット未活用分野への導入支援、現場ニーズに即応した市場化技術開発、次世代のロボット技術開発を進めながら、並行して規制緩

経済産業省製造産業局

産業機械課長 佐脇 紀代志

和、必要な安全規制の構築、標準化の推進など必要な環境整備を実施してまいります。

また、中長期的に国内市場の縮小が見込まれる中、我が国経済の牽引役となり、グローバルに活躍できる多様な企業群を継続的に生み出していくことが重要です。経済産業省としても引き続き、地域経済を支えながら、国際的にも高いシェアを保持するグローバルニッチトップ(GNT)企業を支援していきます。

併せて、我が国企業の海外展開を支援し、最先端のインフラシステム輸出を後押しし成長著しい新興国市場の獲得に向け、日本の優れた技術を世界に提供してまいります。産業機械課としても、世界最高水準の発電効率を誇る日本製石炭火力発電の輸出を推進してまいります。

さらに、法人税を成長志向型の構造に変革していく必要があります。実質的な法人税負担でみると日本企業の税負担は約30%と諸外国の企業より10%以上高い税負担となっています。数年で法人税を20%台まで下げるなど、高付加価値拠点・競争力確保に取り組んでまいります。

産業機械課は、これからも皆さんの生の声を聞き、それを産業政策に反映させていきたいと思っておりますので、良いアイデアやお困り事があつたら、気軽にお声を掛けてください。

最後になりましたが本年が皆様方にとって更なる飛躍の年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年賀詞交歓会開催される

当工業会の平成27年新年賀詞交歓会が、1月15日(木)午後1時30分から日本工業倶楽部3階大ホールにおいて開催されました。出席者は、経済産業省をはじめ各関係団体、報道関係、当工業会関係者を含め昨年を上回る118名となり盛大に執り行われました。開会にあたり、当工業会の中村会長から次の挨拶がありました。

拡大する東南アジア、南アジア市場の変化に的確に対応し繊維アパレル産業の発展に貢献していきたい。次回の「国際アパレル機器&繊維産業見本市・JIAM2016」は、2016年4月6日から9日までインテックス大阪で「革新的ソリューションと高度加工技術」をテーマに開催し、関連業界の併催展も予定している。出展勧誘、来場誘致活動を開始しており、関係者のご支援ご協力をお願いしたい。「第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール」は、今回も多くの作品が寄せられた。今後もミシンソーイングのモノづくり文化拡大に貢献したい。引き続き会員各社の理解と協力をお願いしたい。

続いて、ご来賓として出席された経済産業省製造産業局産業機械課佐脇課長殿から、縫製機械産業は技術革新を続け、既存の技術を有効活用し発展を続けてきた。このような取り組みは日本の産業界の良い見本になっている。今後も直面する障壁を産業界全体で乗り越えていくため、行政としても様々な支援をしていきたいとの挨拶がありました。

その後、当工業会の近藤副会長(JIAM2016実行委員長)から、JIAM2016は日本の革新的な技術、製品を世界に向けて情報発信する格好の舞台であり、会員企業は革新的製品を開発し展示してほしい。現在鋭意準備を進めているので引き続き関係各位の支援をお願いしたい旨挨拶後、乾杯発声が行われ和やかな雰囲気ですべて行われました。最後に眞壁副会長から、節目の35回を迎えるホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは今年も多くの力作が寄せられ、今回は記念となる特別賞を設置した。この事業が長年続けられていることに対して関係者のご努力、ご支援に感謝している旨挨拶後、中締めが行われ盛況のうちに終了しました。



中村 和之 会長



佐脇 紀代志 産業機械課長



近藤 章吾 副会長



眞壁 八郎 副会長

## 第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品決定

全国の小学生、中学生、高校生を対象に実施した第35回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクールは、応募校数は526校、応募点数は4,233点の応募があり、厳正な審査の結果、入選作品等が決定しました。なお、今回は35回記念として、特別に「リクチュール賞」を設けました。入選作品表彰式は、平成27年3月7日(土)、13時30分より日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内)で執り行います。

なお、入選作品等の詳細については、後日、会員及び報道機関向けにお知らせします。



## 国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM 2016 OSAKA) 出展申込募集中

当工業会が主催する国際アパレル機器&繊維産業見本市 (JIAM 2016 OSAKA) の出展申込を募集中です。

出展料が割引される「早期申込割引」や無償小間が提供される「展示特別支援」がありますので、ご利用下さい。

### ■テーマ:一革新的ソリューションと高度加工技術一

#### Innovative Solutions & Advanced Processing Technology

■会期:2016年4月6日(水)~9日(土)<4日間> 10:00~17:00

(但し、最終日は16:00まで)

■会場:インテックス大阪 2・3・4・5号館

■主催:一般社団法人日本縫製機械工業会 (JASMA)

■特別開催協力:一般財団法人 大阪国際経済振興センター  
(INTEX OSAKA)

### ■出展申込期限

●早期申込割引適用期限:2015年6月30日(火)(当日必着)

●通常申込期限:2015年10月30日(金)

※例えば、通常小間を早期申込すると1小間当たり2万円程度小間料金が安くなります。

パッケージ小間、スペース小間の早期小間料金は下記URLを参照下さい。

ただし、予定小間数に達し次第締切ります。

### ■出展小間料金 (詳細は下記URLを参照下さい。)

<http://www.jiam-show.com/exhibitors/guidelines.html>

### ■展示特別支援

●募集期間:2015年10月30日(金)まで

●審査:開催テーマに沿った革新的な自社新製品・技術・サービスの実演・展示やデモンストレーション等を出展する場合、当工業会の基準に基づき審査し、採用された場合は無償小間を提供します。

●新規出展の場合、継続出展者が増小間した場合は申込小間数に応じて無償小間が提供されます。  
(詳細は下記URLを参照下さい。)

<http://www.jiam-show.com/common/images/downloads/application.pdf>

※問い合わせ等は下記までご連絡下さい。

一般社団法人日本縫製機械工業会

TEL: 03-6435-8190

FAX: 03-6435-8192

Eメール: info@jasma.or.jp

URL: <http://jiam-show.com/>



JIAM2016 キービジュアル

### 編集後記

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は田中投手がヤンキースで13勝、羽生選手がソチ五輪で金メダル、錦織選手が全米テニスで準優勝、そして日本人3名がノーベル物理学賞を受賞する等日本の大活躍を大変うれしく思いました。今年は更なる日本の活躍が期待出来ると感じます。

当工業会も来年のJIAM2016に向けて頑張ってますので、よろしくお願ひ申し上げます。 (K.M.)

### JASMA 会報

Vol.11 No.4 2015年2月6日発行

一般社団法人日本縫製機械工業会  
発行責任者: 湯原 孝志

〒105-0004  
東京都港区新橋5-25-3 第2一松ビル2階  
TEL. 03-6435-8190 FAX. 03-6435-8192

URL <http://jasma.or.jp>  
Eメール [info@jasma.or.jp](mailto:info@jasma.or.jp)

本JASMA会報は、当工業会ホームページに掲載しております。